

豊岡市で栽培した野菜を使って キッチンカーを運営

き っ か け

◆全体の1割から2割程度発生する規格外野菜の有効活用を模索していた。また、自ら運営する「にっこり体験（農業体験と収穫体験）」で料理を提供したいと考えたため、クラウドファンディングで支援を受け、2023年1月にキッチンカーを導入した。

取 組 内 容



キッチンカーで提供する野菜たっぷりのメニュー。専門家のアドバイスを受けながら開発しました。
(画像提供: Veggie de +)

今 後 の 展 望

◆今後は米粉専用品種を栽培する予定であるので、米粉加工品を含めた商品開発に力を入れていきたい。

◆将来は、地域に体験施設やカフェを備えた複合施設を造り、農業で地域をもっと盛り上げていきたい。

◆自ら栽培した野菜を使用して、タコス、ハンバーガー、野菜スープ、サラダパフェ等をキッチンカーで提供。「にっこり体験」で提供するほか、イベントにも多数出店している。出店時には、野菜の販売等を併せて行うため、農業の宣伝効果もあると感じている。

◆キャベツ、ハートや星形のキュウリ、ピーマン、とろり葱、トマト、なす等、季節に合った旬の野菜を年間30品目程度と水稻を栽培している。販売先は、個人宅への宅配（菜美さんが描いたイラスト入りのメッセージカード付き）、給食センター、直売所等である。積極的に発信を行っているインスタグラムを通しての注文も多い。

◆圃場をテーマパーク化し学校遠足の子供達を受け入れるなど、食育にも力を入れている。

◆農業は、栽培技術を習得することがとても難しいうえに、多額の初期投資が必要である。6次産業化は、農業の栽培技術をしっかり身に付けた後に、次のステップとして取組むべきだと考えている。

Veggie de + (ベジーデプラス)

◆所在地

兵庫県豊岡市

◆お話を伺った方

代表 小川 恭弘
小川 菜美

◆取組内容

- ・野菜と水稻の栽培
- ・自ら栽培した野菜を使ったメニューをキッチンカーで提供
- ・にっこり体験（農業体験と収穫体験）を実施



(左から) 代表の小川恭弘さんと小川菜美さん
キッチンカーは「Veggie de +」カラーのオレンジ色



『ときめく野菜』がキャッチフレーズの自慢のお野菜

(画像提供: Veggie de +)



←遠足の際に子供達に配布したマップ

2024年4月10日調査